THE ROTARY CLUB OF PORT NAGOYA

Weekly Report

名 古 屋 み な と

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～2022

承　認　1966 年　5 月 12 日 例会日　金曜日 12：30
例会場　名古屋マリオットアソシアホテル
事務局　TEL 052-221-7020　FAX 052-221-7023
E-Mail office@portnagoya-rc.com
URL http//www.portnagoya-rc.com
会　長　栢森　雅勝　　幹　事　岡田　雅
広報・雑誌・会報委員長　長瀬　廣幸

SERVE TO CHANGE LIVES.　奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために　R.I. 会長 シェカール・メータ

第 2607 回例会　No.4
2021 年(令和 3 年 8 月 6 日(金) 晴
「君が代」
名古屋みなとロータリーソング
「セイリング」
ガバナー補佐訪問

出席報告

会員 60 名中　出席 47 名　出席率　78.33%

〇ゲスト　ガバナー補佐　牧野　博和様
地区副幹事　神谷　明文様
地区スタッフ　内藤　教恵様
分区幹事　荒川　和生様
分区副幹事　青木　充彦様

会長挨拶　　会長　栢森　雅勝君

ビジネスマネジメントについてお話したいと思います。
ビジネスマネジメントは約１００年前に始まった。
工場研究で始まったテイラーの科学的管理方法が、フォードによって自動車製造に採用されて、「製造」を大きく変えたことから普及した。

ビジネスマネジメントは、ある意味実学であって、企業や工場をよく見て、考え、理論化され、それがビジネスに応用されて評価される。
MBA と資格取得がもてはやされ、ビジネスコンサルタントが現れて、ビジネスの真髄の伝道師のように思われがちだが、マネジメント手法には、それぞれ背景と狙いがあるので、それを知っただけでものすごく理解しやすくなる。

ざっくり次の４種類に分類してみた。
①仕組みに関するもの
・テイラーの科学的管理法
・ガントチャート（プロジェクト管理、工程管理）
・デミングの品質管理
・ジャストインタイム(プル型生産方式)
②人に関するもの
・X 理論、Y 理論
・マズローの多段階欲求説
・ハーズバーグの２要因理論
・KITA：外的な動機づけと内的な動機づけ
・トヨタの”ものづくりは人づくり”
・「行動学習」
③本質について
・ドラッカーのマネジメント
・チャンドラーの経営戦略と組織
・クリステンセンのイノベーションのジレンマ
・ムーアのキャズム理論
・センゲの学習する組織
④判断、戦略、戦術に関するもの
・SWOT（強み、弱み分析）
・コトラーのマーケティング理論
・４P 理論、マーケティングミックス
・ポーターの５つの競争要因
・ジャックウエルチの再構築（ダウンサイジング、ワークアウト、６シグマ）

『マネジメントの世紀』
著者：スチュアート・クレイナー発行：東洋経済

第１章「科学的管理法」の登場
・アンリ・ファヨール 1841-1925
マネジメントに気づく、「マネジメントの基本原則１４」
・分業、権限と責任、規律、命令の一元化、式の一元化、全体利益の優先、従業員への報酬、集権化、階層組織、秩序、公正、組織メンバーの安定性、自発的努力、結束
・フレデリック・テイラー 1856-1915
「科学的管理法」、75%の科学と 25%の常識
・業務プロセスの確立と定義

第２章「モダン・タイムス」フォードの大量生産ライン
・ヘンリーフォード 1863-1947
フォード生産方式による大規模な工場
・大規模で機能する「流れ作業と組み立てライン」
１人でひとつの発電機組み立てに２０分以上かかっていたが、作業を８４個に分割した組み立てラインを採

用することで、ひとつの組み立てにかかる時間は５分になった。
・組み立てラインが効率的に機能するために、部品が正しいタイミングで供給される後のジャストインタイム生産システムと構築した。
・1908 年フォードＴは１台 850 ドルで 6000 台を生産、フォードはコスト削減を続け、1927 年の最終年度には１台 290 ドルだった。
・完全な生産システムのために、フォードは部品や材料も自前で作る垂直統合に向かい、鉱山を所有し、森から木材を切り出し、プランテーションからゴムを採取した。それは没落の始まりだった。
・工場で働く労働者には、決められたことだけを行動することを要求していた。

第３章「組織の発見」アルフレッド・スローンの経営モデル
・個人の独裁から、専門化による組織集団を作り上げた。
　1．情報を元に意思決定を行う専門的なマネジャーの中核グループを作った。
　2．分権化された運営と集権化された政策コントロール：ＳＢＵ戦略事業単位を編成
・再構築されない集権と分権化された組織は、現実の変化についていけなくなった

第４章「人間の発見」ホーソン実験と動物的管理
・エルトン・メイヨー 1880-1949
働く人の心理、社会的要素：阻害要因と動機付けの気づき
1927 年から 1932 年までホーソン工場でモラルや生産性に影響する要因を研究
・メアリー・フォレット 1886-1933
「動態的管理」リーダーの役割は、ビジネスの目的の定義、調整、予測

第５章「戦時中の教訓」品質管理と日本の再生
1941 年の第２次大戦では、米国でさえ全ての産業・経営ノウハウが軍につぎ込まれた。 米国の生産規模が巨大化していき、1941 年から 1945 年の４年間で米国の工業生産高はほぼ２倍になった。
・ウォーター・シュハート 1891-1967 (物理学者)
製造での品質に統計的アプローチを開発。
終戦後は、日本の企業はすぐに社会発展のために動き始めた。彼らの特徴は、品質管理の手法と労働者を家族のように守る経営があった。

第６章「夢の生活」
マーケティングの興隆人間関係学派
1950 年代米国は豊かを謳歌し、企業人は忠誠心を持っていた。企業の文化や価値観、企業ブランドが最も重要なものとなった。
・ピーター・ドラッカー1909-2005
事業の目的として有効な定義はただひとつ、顧客を創造すること。
・フィリップ・コトラー1931-
マーケティングマネジメントが広まる。
４Ｐツール(プロダクト、プライス、プレイス、プロモーション)
売り手の４Ｐではなく、買い手の４Ｃ
４Ｃとは顧客にとっての(顧客ニーズ・ウォンツ、コスト、利便性、コミュニケーション)
ブランドの隆盛
　1950 年代には消費の世界が生まれた。所有することと、消費することが喜びだった。
　広告やイメージが商品の売り上げを大きく左右した。
動機づけの研究が発達した
労働者の効率を左右する要因
・ダグラス・マクレガー1906-1964
ＸＹ理論
Ｘ理論「人間は本来なまけたがる生き物で、責任をとりたがらず、放っておくと仕事をしなくなる」
Ｙ理論「人間は本来進んで働きたがる生き物で、自己実現のために自ら行動し、進んで問題解決をする」
・エイブラハム・マズロー1908-1970
５段階欲求説：低次の欲求が満たされて、より高次の欲求が求められる。
生理的欲求、安全の欲求、社会的欲求 / 所属と愛の欲求、承認（尊重）の欲求 、自己実現の欲求
・フレデリック・ハーズバーグ 1923-2000
２要因理論：不満を解決しても、それは満足する対応にはならない
動機づけ要因と衛生要因
外的な動機づけと内的な動機づけ：ＫＩＴＡ
報償であれ、ペナルティであれ外的な動機づけは長続きしない。真の動機づけは、その人の内側から起こるものである。

第７章「戦略の理解」
ドラッカー、チャンドラー、アンゾフ、ミンツバーグ
・ピーター・ドラッカー1909-2005
「マネジメント」
５つの基本的役割：目標設定、組織づくり、動機づけとコミュニケーション、評価測定、育成
・アルフレッド・チャンドラー1918-
「経営戦略と組織」
戦略とは、企業の長期的目標と目的の決定、行動指針の採用、目的達成のために必要な資源配分
・イゴール・アンゾフ 1918-
「戦略的経営」：戦略的、管理的、運営的な意思決定システム
・ヘンリー・ミンツバーグ 1939-
「戦略計画」創造的破壊の時代：計画は範囲を定義し保持する。一方創造性は新たな範囲を創造し、既存の範囲を再構築する。

ビジネススクールの隆盛
1940 年代から米国で多数のビジネススクールが創立された。
拡大する一方で批判も大きくなり、より実践的な 2 年制のプログラム、現在の MBA の原型が生まれた。
ヨーロッパでも米国に遅れてビジネススクールが開講していった。

第 8 章「組織的な麻痺」ヨーロッパ型の企業経営
1970 年代に米国は、1950 年代の繁栄と 1960 年代の偉大さから破滅を迎えた。
米国が停滞に陥っている時に、ヨーロッパでは新たな経営モデルが進んでいた。
・英国グレイシア・メタル・カンパニーの産業民主主義：集団労働のダイナミクスの理解
「行動学習」小さな集団で発信したものが、共有化されることで学習が起こる
・1970 年代にスウェーデンでは「チームワーク」「産業民主主義」が広がっていった。
ボルボは 1974 年に 12 人のチームで 1 台のトラックを組み立てる新しい方式を成功させた。
米国 GM もこの新しい STS ソシオ・テクニカル・システムを試し、成功を収めたが従来の工場に広がることはなかった。

第 9 章「エクセレントな冒険」日本的経営への注目
成功し反映していく日本企業は、表面的な欧米企業との違いよりも重要な重要な要因があった。
デミングの「品質管理」を欧米企業は再発見した。
・W・エドワーズ・デミング 1900-1993
デミングのメッセージ
1. 経営者は背失敗対する責任を負う。品質管理は経営トップの主導で行わなければならない。
2. 顧客は生産ラインも最も重要な一部である。品質は顧客によって定義される。
3. プロセスは、製品に勝る重要性を持つ。
4. 変化や改善はすべての人に影響を与えるものであり、彼らを巻き込むものでなければならない。
5. 人を訓練せよ。人は良い仕事をしたがっている。
デミングの 14 のポイント。
・ジョセフ・ジュラン 1904-2008
「品質管理ハンドブック」
「品質計画ロードマップ」
しかし、品質管理を取り入れても望む結果は得られず、それは万能ではなかった。
・マイケル・ポーター1947-
「競争の戦略」五つの競争要因
(新規参入、代替品、買い手、供給業者、既存の競合企業)
・トム・ピーターズ 1942-
「エクセレントカンパニー」
行動の重視、顧客への密着、自主性と起業家精神、人を通じての生産性　現場的な価値観、一生懸命続ける、単純な組織・少数スタッフ、自由と厳しさの併存
・ウォーレン・ベニス 1925-2014
「リーダーシップ」リーダーとは、カリスマではなく作られるものである。
人引きつけるビジョンを持つ、コミュニケーション信頼、自分自身の開発(学習) リーダーシップに害となるのは、初期の成功体験である。

第 10 章「新しいパワーバランス」
ABB、GE、トヨタ、DELL
1990 年代にリエンジニアリングがもてはやされ、多くの企業で実践されたが、ほとんどは失敗に終わった。その問題点としてあげられるのは、
①企業文化を考慮しない
②効率偏重で人間的側面の排除
③企業は革命に適していない。
・ＡＢＢのマトリクスモデル
出来るだけ経営層を減らした効率的な企業精神あふれる組織を作る。
->　集中的な条件下での分権化と呼ぶ複雑なマトリクス組織
・ＧＥの経営モデル
ジャック・ウェルチによる再構築(破壊、創造、品質)
1. ダウンサイジング：競争優位の追求とスリム化
2. ワークアウト：あらゆる職階によるタウンミーティングを行い、責任者にはその場で決断
それが従業員と経営陣を信頼で結びつけた
3. 広範囲な品質プログラムの導入：シックスシグマ運動の推進・定着
ABB、GE、トヨタ、DELL の成功は、どのようにその企業が組織化され経営されているかである。
つまり、ものごとをどのように行うかが、成功する上で重要かつ不可欠になっている。本質的にこれは知性の勝利である。知的資本とは、人々の知性をさまざまな方法を使って充分に活用することと言える。問題は、どうやってそれを創造するのか。

第 11 章「マネジメントの現状」21 世紀に向けて
経営論は次から次へと生まれ、大学での教育、ビジネススクール、企業での幹部教育市場は拡大し続けいている。
・ピーター・センゲ 1947-
「学習する組織」
学習とは「単に情報を取り入れる」ことよりももっと深く、自分にとって重要なことを達成するために自分個人を変えることである。

髙田会長杯取切戦優勝者　　　　酒井　優君

8月の誕生日祝福
3日 岩佐君夫人、5日 市野君夫人、
7日 岡田君、8日 渡辺君、
10日 沼野君夫人、11日 小野田君、
12日 松本君、
15日 三枝樹君夫人、栢森君夫人、
18日 山田(章)君、21日 加藤(博)君、
22日 加藤(嗣)君夫人、
23日 沼野君、高山君夫人、
25日 山田(幸)君、30日 菅君夫人

8月の結婚記念日祝福
8日 中村君
22日 加藤(嗣)君
23日 久留宮君

ニコBOX

(ニコボックス頂戴いたしました)
ガバナー補佐 牧野博和様、
分区幹事 荒川和生様、分区副幹事　青木充彦様
(ニコボックス頂戴いたしました)
ガバナー事務所
(ガバナー補佐が訪問されています。本日は、よろしくお願いいたします)　栢森会長
(牧野ガバナー補佐、神谷地区副幹事、内藤地区スタッフ、荒川分区幹事、青木分区副幹事、ようこそお越しくださいました。例会楽しんでください。牧野ガバナー補佐、卓話よろしくお願いします)　岡田幹事
(取り切り戦、優勝しました)　酒井君
(藤原君、中井君にお世話になりました。都合により早退します)　田島君
(ガバナー補佐、本日よろしくお願い致します)
岩佐君
(牧野ガバナー補佐、地区役員の皆様をお迎えして、本日は宜しくお願いします)　吉田(利)君
(久しぶりにゴルフ会優勝しました。努力は裏切らないです)　鈴木君
(8月8日75才の誕生日を迎えます)　渡辺君
(牧野ガバナー補佐様御一行を心より歓迎申し上げます。昨日のゴルフ会は、酷暑の中、多数のご参加をいただきありがとうございました。次回は9月16日となりますので、お早めのご参加登録をお願いいたします)　長瀬君

本日合計	47,000円
累　計	570,000円

幹事報告　　　　岡田　雅君

①RIレートが1ドル110円と連絡ありましたので、ご報告させていただきます。
②8月27日のWEB例会についてですが、未だ終息しないコロナ禍にあって
今後このようなオンラインの活用が必須と考え、今回初めて実施します。まだ出席のご連絡が少ないという事ですが、ご理解いただき皆様のご参加お願い申し上げます。
③今年10月9日～10に開催されますWFFですが、現在のコロナの状況を鑑みて延期となりました。今年度中という事ですが、まだ日程は決まっておりません。

ガバナー補佐訪問講和

第2760地区西名古屋分区ガバナー補佐

牧野　博和様

国際ロータリー2021-22 年度会長テーマ
「奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために」
国際ロータリー2021-22 年度第 2760 地区　ガバナー地区方針
「チェンジロータリー　新時代への成長に！」

～　コロナゼロ　・　カーボンゼロ支援　～
「人類の危機を救うロータリーになろう！」

1.会　員　増　強
「一人が一人以上の人に声をかける」
・今まで声をかけてなかった人に声をかける
・特に女性と若い人
・地区会員増強委員会に卓話を依頼し、会員増強についてクラブ全員が共有する
・クラブ会員増強委員長の任期を 2 年にして、継続的な勧誘をしていく

2.ロータリー奉仕デー
■インターシティミーティングに参加しよう
■2 クラブ以上での合同事業
　・第９回ワールド・フード+ふれ愛フェスタ（ＷＦＦ）
　ゼロミッション～ゼロへの行動・より良い未来へ～
　　コロナゼロ+カーボンゼロ+ポリオゼロ
　・地区８４全クラブ　記念植樹計画

3.奉仕活動のための組織づくり
親睦+インパクトのある奉仕事業+公共イメージ向上
＝地域への社会貢献　→　ロータリークラブの発展
クラブ内人員配置を奉仕活動委員会に重きを置き、組織として活動できる地盤をつくる

4.ロータリーイメージ向上
よい奉仕活動+メディアに取り上げられる→ロータリークラブの知名度向上
自クラブの活動を知る
よい奉仕活動は地域の知ってもらって意味をもつ
メディアに取り上げてもらうには
・事業をする際はプレスリリースを出す
・地区公共イメージ向上委員会に対策を聞く

5.地区大会に参加しよう
2021 年 11 月 6 日(土)　名鉄グランドホテル
　　　　　7 日(日)　名古屋国際会議場

6.国際大会に参加しよう
ヒューストン国際大会　２０２２年　6月４日～８日
ヒューストンで世界のロータリアンと交流しよう

沓名ガバナー公式訪問日は９月２日（木）です。
宜しくお願い致します。

西名古屋分区ガバナー補佐訪問懇談会

とき	８月６日（金）11：30～
ところ	名古屋マリオットアソシアホテル 17 階「楠」
出席者	ガバナー補佐　牧野　博和様
	地区副幹事　神谷　明文様
	地区スタッフ　内藤　教恵様
	分区幹事　荒川　和生様
	分区副幹事　青木　充彦様
	栢森会長、吉田(利)副会長、岡田幹事、髙村会長エレクト、三枝樹副幹事

第 2 回クラブアッセンブリー議事録

とき　　８月６日（金）13：30～
ところ　名古屋マリオットアソシアホテル
　　　　17 階「ルピナス」
出席者　ガバナー補佐　牧野　博和様
　　　　地区副幹事　　神谷　明文様
　　　　地区スタッフ　内藤　教恵様
　　　　分区幹事　　　荒川　和生様
　　　　分区副幹事　　青木　充彦様
栢森会長以下 17 名
入会３年未満の会員３名

1.ご紹介
ガバナー補佐　牧野　博和様
地区副幹事　　神谷　明文様
地区スタッフ　内藤　教恵様
分区幹事　　　荒川　和生様
分区副幹事　　青木　充彦様

2.牧野ガバナー補佐挨拶

3.各委員会委員長活動方針報告・説明、
ガバナー補佐からの質疑応答

4.牧野ガバナー補佐からの総評

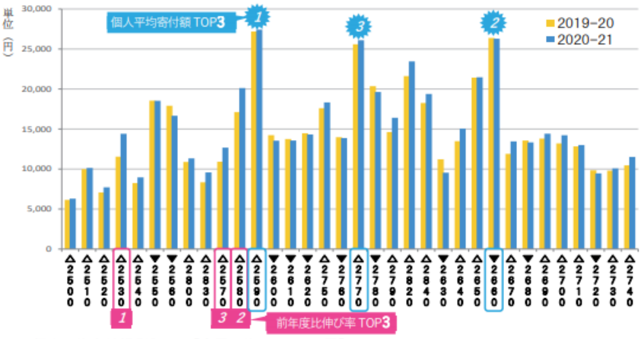
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

Vol.256　2021 年 7 月 13 日 発行

1. 2020-21 年度　寄付金結果

2020-21 年度の寄付金は約 13 億 3,600 万円でした。新型コロナウイルスの影響から寄付状況が危ぶまれましたが、最終的には前年度比 0.04%増（普通寄付金：1.4%減、特別寄付金：0.7%増）と約 50 万円の増額で、ほぼ 2019 年度並みの寄付結果となりました。社会的、経済的にまだ落ち着きを取り戻せていない状況下、多くのロータリアンの方々からご寄付をいただいたことにより、2020 年度予算額 13 億 3 千万円を達成することができました。心より御礼申し上げます。今年度も引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



個人平均寄付額 TOP３　【全国平均：15,516 円】
1 第 2590 地区：27421 円　2 第 2660 地区：26279 円　3 第 2770 地区：26097 円
前年度比伸び率 TOP３
1 第 2530 地区：124.6%　2 第 2580 地区：117.5%　3 第 2570 地区：116.0%

2. 学友会セミナー開催報告

6 月 26 日、国内外の米山学友会代表者が参加する学友会セミナーを Zoom で開催しました。

当日は、齋藤直美理事長から学友会へのメッセージ、事務局から個人情報保護や提出書類に関する説明のあと、韓国（キム デイル幹事長）、マレーシア（黄 麗容会長）、第 2620 地区（上野佳子会長）、第 2660 地区（ミン スラ会長）が、それぞれ学友会の特長となる活動紹介を行いました。続いて、4 グループに分かれて「コロナ禍における学友会活動の工夫」をテーマとするディスカションを行いました。その後、全体セミナーに戻って質疑応答、第 3 回世界大会の告知（朴 貞子実行委員長）、駒井英基常務理事/学友・学友会担当理事の挨拶で閉会となりました。水野 功副理事長、井原 實常務理事（いずれも選考・学務担当理事）にもご参加いただき、オンラインではありましたが、3 年半ぶりに同セミナーを開催することで、他学友会の活動や課題を全員で共有する有意義な会となりました。

3. 米山初の紺綬褒章受章者が誕生！

国際ロータリー第 2630 地区（岐阜県・三重県）上野ＲＣの丸山統正（まるやまむねまさ）氏（写真右）が 5 月 29 日、紺綬褒章を受章しました。7 月 6 日の同クラブ例会にて褒章伝達式が行われ、出席した当会の水野 功副理事長から丸山氏へ褒状が贈られました。

丸山氏は昨年 6 月、長年にわたって収集してきた故平山郁夫氏の版画を売却した代金の一部を当会へご寄付いただきました。この多大なご支援により、当会から国へ紺綬褒章の授与対象として申請し、閣議決定を経て、このたび紺綬褒章授与が決定しました。

紺綬褒章は公益のために私財を寄付し、その功績が顕著な個人や団体に対し、天皇陛下から授与される褒章です。当会では 2018 年 9 月に紺綬褒章の公益団体認定を受けて以来、初めての受章者が誕生したこととなります。心よりお祝い申し上げます。

【丸山氏からのコメント】 このような大きな褒章をいただき、身に余る光栄です。私は若い頃から平山郁夫さんの版画を長年収集しておりました。戦争を憎み、人類は一つであるとの信念から、平和への祈りを込めて多くの作品を描いた彼の思いに深く共感していました。また、私自身がこのクラブで 4 度も米山委員長の担当となり、米山奨学事業の目的と平山さんの理念に相通ずるものを感じて、今回寄付に至った次第です。すべての皆さまに感謝申し上げます。

4. レンタルします！ ― ロゴ旗＆タスキ ―

今年度からロゴ旗および学友・奨学生用タスキを新たに作りました。ご希望の方に無料で貸し出しいたします（返送料のみご負担ください）。ロゴ旗は大小 2 種ありますので、地区大会の壇上や例会会場などでご掲揚ください。タスキは、学友や奨学生が集まるイベントや奉仕活動の際にぜひご活用ください。いずれも数に限りがあり、使用後は速やかにご返却ください。お申込みは①送付先②ご要望の品名（タスキの場合は希望本数）③使用日 を記載のうえ、
当会広報担当 highlight@rotary-yoneyama.or.jp まで

5. 50 周年記念誌頒布終了のお知らせ

財団設立 50 周年を記念して制作した『ロータリー米山記念奨学会 50 年のあゆみ』は、おかげさまで 6 月末をもって頒布を終了しました。ご購読いただいた皆さまに心より御礼申し上げます。残部につきましては今後、研修資料として適宜活用する予定です。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

月	日	今後の例会予定
8	13	休会
	20	休会
	27	休会
9	3	例会変更 ガバナー公式訪問 9/2（木） 丸の内 RC 合同　クレストンホテル
	10	敬老例会 「コスモス」
	17	例会変更 夜間例会 ミッドランドスクエア 「CARVINO」（カルヴィーノ）
	24	休会
10	1	港友例会
	8	休会
	15	例会変更 WFF　10/9（土）→延期
	22	例会変更 家族旅行会（大阪）10/23-24
	29	卓話 「コスモス」